

せみの なきごえ
2年 せつめい文 4ばん

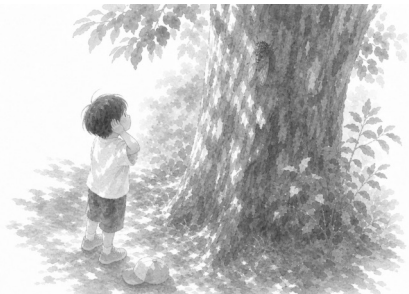
なまえ

夏になると、木の上から、せみの大きななきごえが聞こえてきます。ミーンミーン、ジージィ。

じつは、ないているのは、おすのせみだけです。めすのせみは、なきません。おすは、大きな声でなくて、めすに「ここにいろよ。」と知らせているのです。

せみは、口でないているのでありません。おなかのつけねに、うすいまくがあります。このまくをとでもはやくふるわせて、音を出しているのです。

おすのせみのおなかの中は、がらんどうになっています。その中で音がひびいて、大きな声になるのです。



(1) 「がらんどう」のいみに合うものを一つえらび、記ごうに○をつけましょう。

ア 中にものがぎっしりつまっていること
イ 外がわがかたくて、じょうぶなこと
ウ 中が水でいっぱいになっていること
エ 中がからっぽで、ひろくあいていること

(2) 文しように書いてあることに合うものを一つえらび、記ごうに○をつけましょう。

ア せみは、口をあけてないている。
イ めすのせみは、なかない。

ウ おすとめすが、いっしょにないている。
エ せみのなきごえは、冬によく聞こえる。

(3) せみは、何をふるわせて音を出していますか。文しように五字で書きぬきましょう。

(4) おすのせみは、何のためにいますか。書きましょう。

書き方のヒント

二つ目のだんらくのさいごの文を見てみよう。
「ため。」でおわらせる。

せみの なきごえ

こたえ

2年 せつめい文 4ばん

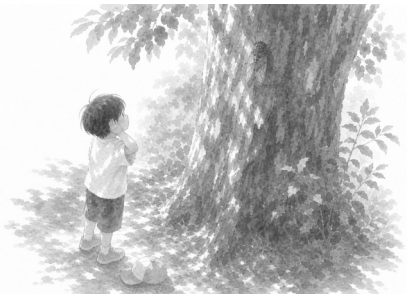
なまえ

夏になると、木の上から、せみの大きななきごえが聞こえてきます。ミーンミーン、ジージィ。

じつは、ないているのは、おすのせみだけです。めすのせみは、なきません。おすは、大きな声でなくて、めすに「ここにいろよ。」と知らせているのです。

せみは、口でないているのでありません。おなかのつけねに、うすいまくがあります。このまくをとともはやくふるわせて、音を出しているのです。

おすのせみのおなかの中は、がらんどうになっています。その中で音がひびいて、大きな声になるのです。



(1) 「がらんどう」のいみに合うものを一つえらび、記ごうに○をつけましょう。

ア 中にものがぎしりつまっていること
イ 外がわがかたくて、じょうぶなこと

ウ 中が水でいっぱいになっていること
エ 中がからっぽで、ひろくあいていること

(2) 文しように書いてあることに合うものを一つえらび、記ごうに○をつけましょう。

ア せみは、口をあけてないている。

① めすのせみは、なかない。

ウ おすとめすが、いっしょにないている。
エ せみのなきごえは、冬によく聞こえる。

(3) せみは、何をふるわせて音を出していますか。文しように五字で書きぬきましょう。

う す い ま く

(4) おすのせみは、何のためにないていますか。書きましょう。

(れい) めすに、ここにいろよと知らせるため。

書き方のヒント

二つ目のだんらくのさいこの文を見てみよう。

「くため。」でおわらせる。

解答・解説 せみの なきごえ（2年・せつめい文）

もん 問1 エ

よっ め 四つ目の だんらくに「おなかの ^{なか}中は、がらんどうに なっています」「その ^{なか}中で ^{おと}音が ひびいて」と ^か書いて あります。^{なか}中が からっぽで あいているので、^{おと}音が ひびくので す。

もん 問2 イ

ふた め 二つ目の だんらくに「めすの ^かせみは、なきません」と ^か書いて あります。^{みつ め}三つ目の だんらくに「^{くち}口で ないているのでは ありません」と あるので、アは ^かちがいます。

もん 問3 うすい まく

みつ め 三つ目の だんらくに「^かうすい まくが あります」「この まくを ととても はやく ふるわせて、^{おと}音を ^だ出しているのです」と ^か書いて あります。

もん 問4 （れい）めすに、ここに いるよと ^し知らせる ため。

ふた め 二つ目の だんらくに「めすに『ここに いるよ。』と ^し知らせて いるのです」と ^か書いて あります。めすに ^し知らせる ことが ^か書けて いれば ○です。